



Azure Blob ストレージのドキュメント

Azure Blob storage

NetApp
October 07, 2025

目次

Azure Blob ストレージのドキュメント	1
NetAppコンソールの Azure Blob Storage の新機能	2
2025年10月6日	2
BlueXPはNetAppコンソールになりました	2
2023年6月5日	2
BlueXPから新しいストレージアカウントを追加する機能	2
始めましょう	3
Azure Blob ストレージ アカウントを表示する	3
Azure Blob ストレージ アカウントを管理する	5
NetAppコンソールで Azure Blob ストレージ アカウントを追加する	5
NetAppコンソールで Azure Blob ストレージ アカウント設定を変更する	7
プロジェクトの詳細を変更する	8
ストレージ アカウント内のオブジェクトのタグを追加または変更する	8
暗号化設定を変更する	8
Azure Blob ストレージでNetAppデータ サービスを使用する	9
知識とサポート	10
サポートに登録する	10
サポート登録の概要	10
NetAppサポートのためにNetAppコンソールに登録する	10
Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける	12
ヘルプを受ける	14
サポート登録の概要	14
NetAppサポートのためにNetAppコンソールに登録する	14
Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける	16
法律上の表示	18
著作権	18
商標	18
特許	18
プライバシー ポリシー	18
オープンソース	18

Azure Blob ストレージのドキュメント

NetAppコンソールの Azure Blob Storage の新機能

NetAppコンソールの Azure Blob Storage の新機能について説明します。

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

BlueXP は、データ インフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。

NetAppコンソールは、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのストレージとデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、管理の簡素化を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

2023年6月5日

BlueXPから新しいストレージアカウントを追加する機能

かなり以前から、BlueXP Canvas で Azure Blob Storage を表示することができました。BlueXPから直接、新しいストレージ アカウントを追加したり、既存のストレージ アカウントのプロパティを変更したりできるようになりました。["新しい Azure Blob ストレージ アカウントを追加する方法を学ぶ"](#)。

始めましょう

Azure Blob ストレージ アカウントを表示する

Azure にコンソール エージェントをインストールすると、NetAppコンソールは、コンソール エージェントがインストールされている Azure サブスクリプションに存在する Azure ストレージ アカウントに関する情報を自動的に検出できるようになります。この情報を表示できるように、Azure Blob システムがシステム ページに追加されます。

場所、リソース グループ、使用済み容量など、Azure ストレージ アカウントの詳細を確認できます。これらのアカウントは、NetApp Backup and Recovery、NetApp Copy and Sync、NetApp Cloud Tiering からの操作の宛先として使用できます。

手順

1. ["コンソールエージェントをインストールする"](#)Azure Blob ストレージ アカウントを表示する Azure アカウントで。
2. ナビゲーション メニューから、*ストレージ > システム*を選択します。

しばらくすると、Azure Blob Storage システムが自動的に表示されます。



3. システムを選択します。Azure BlobストレージでNetAppデータサービスを有効にする場合は、右側のペインからアクションを選択します。

["利用可能なデータ サービスを確認し、Azure Blob Storage アカウントでそれらを使用する方法を学習します。"](#)

4. Azure ストレージ アカウントの詳細を表示するには、[システムに入る] を選択するか、システムをダブルクリックします。

Azure Blob Storage

Overview

1001

55

Total storage accounts

4.19

TiB

Total capacity

16

Total locations

55 Storage Accounts

Add storage account

Storage Account Name	Subscription	Location	Creation Date	Resource Group	Blob Capacity
occmsim13144343	OCCM QA1	East US 2	May 12, 2023	occm_group_eastus2	14 GiB
netappbackupvpsawqtbqd3z	OCCM QA1	East US 2	April 7, 2023	occm_group_eastus2	13.3 GiB
occmforadizf55	OCCM QA1	East US	January 23, 2023	occm_group_for_adiz	13.15 GiB
netappbackupvsa44ech2k0	OCCM QA1	East US	January 16, 2023	occm_group_eastus	12.92 GiB
netappbackupvpsalkdp7c1h	OCCM QA1	Central US	June 27, 2022	occm_group_uanenorth	12.87 GiB
netappbackupvpsauylomzpo	OCCM QA1	East US 2	April 4, 2023	occm_group_eastus2	12.75 GiB

デフォルトで表示される列に加えて、ページをスクロールして、ストレージ アカウントの追加プロパティ (タグの数、有効になっている暗号化の種類など) を表示できます。

次の手順

ストレージアカウントの一部の設定を変更するには、コンソールから直接変更します。...ストレージ アカウント用。"詳細はこちら"。

ストレージ アカウントの追加 を選択すると、新しいバケットを追加できます。"詳細はこちら"。

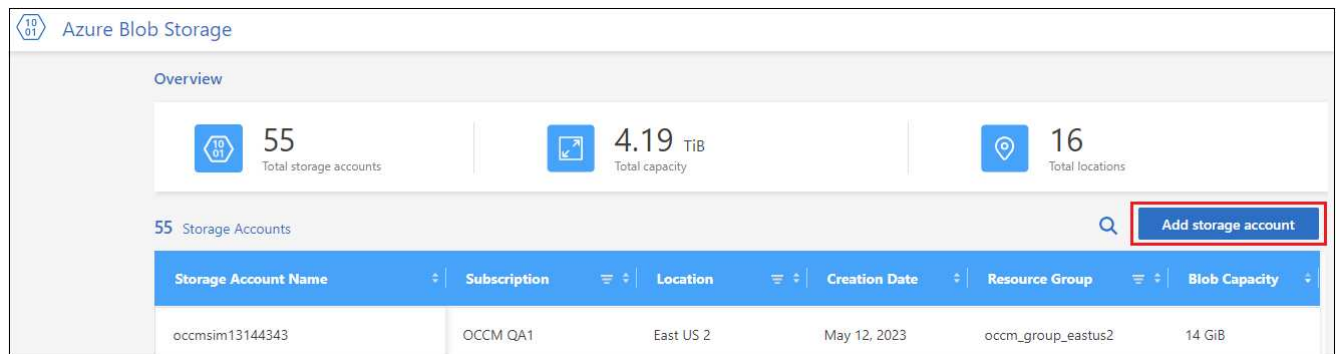
Azure Blob ストレージ アカウントを管理する

NetAppコンソールで Azure Blob ストレージ アカウントを追加する

Azure Blob Storage システムがNetAppコンソールのシステム ページで使用可能になったら、コンソールから直接追加のストレージ アカウントを追加できます。

手順

1. [システム] ページで、Azure Blob Storage システムを選択し、その概要ページを表示します。
2. *ストレージ アカウントの追加*を選択します。



ボタンを示すスクリーンショット。"]

ストレージ アカウントの追加 ページが表示されます。

The screenshot shows the 'Add storage account' form. It has a header 'Add storage account'. Below it are four expandable sections: 'Project details' (containing 'Subscription' dropdown set to 'OCCM QA1' and 'Resource group' dropdown set to 'occm_group_uanorth'), 'Instance details' (containing 'Mandatory fields' with an info icon), 'Tags' (containing 'N/A'), and 'Encryption' (containing 'Microsoft managed keys (MMK)').

ページを示すスクリーンショット。"]

3. _プロジェクトの詳細_セクションに必要な情報を入力します。

フィールド	説明
Subscription	新しいストレージ アカウントの Azure サブスクリプションを選択します。
リソース グループ	このストレージ アカウントの既存のリソース グループを選択します。 "リソースグループの詳細" 。

4. [インスタンスの詳細] セクションで、ストレージ アカウントの名前を入力し、ストレージ アカウントを作成するリージョン (複数可) を選択します。

フィールド	説明
ストレージアカウント名	ストレージ アカウントに使用する名前を入力します。名前の長さは 3 ～ 24 文字で、数字と小文字のみを含めることができます。
Azureリージョン	ストレージ アカウントが作成されるリージョンをリストから選択します。 ストレージ アカウントに適切なリージョンを選択します。 "Azureのリージョンと可用性ゾーンに関する情報については、Microsoftのドキュメントを参照してください。"。 すべてのリージョンで、すべての種類のストレージ アカウントまたは冗長構成がサポートされているわけではありません。 "Azure Storageの冗長性については、Microsoftのドキュメントを参照してください。"。 さらに、リージョンの選択によって請求額が影響を受ける可能性があります。 "Azure Storage アカウントの課金に関する情報については、Microsoft のドキュメントを参照してください。"。
パフォーマンスタイプ	標準 パフォーマンス ストレージを使用するか、プレミアム パフォーマンス ストレージを使用するかを選択します。 "ストレージアカウントの種類については、Microsoftのドキュメントを参照してください。"。 • <i>Standard</i> パフォーマンスは、汎用 v2 ストレージ アカウントに使用されます。ほとんどのシナリオでは、このタイプのアカウントが推奨されます。 • <i>Premium</i> パフォーマンスは、低レイテンシが必要なシナリオに使用されます。利用可能なプレミアム ストレージ アカウントには、ブロック BLOB、ファイル共有、ページ BLOB の 3 種類があります。

5. *Tags* セクションでは、リソースをグループ化するために最大 10 個のタグのキーと値のペアを入力できます。

タグは、リソースをグループ化してアプリケーション、環境、リージョン、クラウド プロバイダーなどを識別するために使用できるメタデータです。ストレージ アカウントにタグを追加すると、オブジェクトがストレージ アカウントに追加されたときにタグがオブジェクトに適用されます。

コンソールによって作成された新しいストレージ アカウントでは、タグはデフォルトで無効になっています。 ["タグ付けの詳細"](#)。

6. [暗号化] セクションで、ストレージ アカウント内のデータへのアクセスを保護するために使用するデータ暗号化の種類を選択します。

データ暗号化タイプ	説明
Microsoft 管理キー	デフォルトでは、データの暗号化には Microsoft が管理する暗号化キーが使用されます。
顧客管理キー	既定の Microsoft 管理の暗号化キーを使用する代わりに、独自の顧客管理キーをデータ暗号化に使用できます。独自のカスタマー マネージド キーを使用する予定の場合は、このページで Key Vault とキーを選択できるように、キーをあらかじめ作成しておく必要があります。 キーはストレージ アカウントと同じサブスクリプション内に置くことも、別のサブスクリプションを選択することもできます。

Microsoft Azureのドキュメントを参照してください ["Microsoft 管理キーに関する詳細情報"](#)、そして ["顧客管理キーの詳細情報"](#)。

7. バケットを作成するには、[追加] を選択します。

NetAppコンソールで Azure Blob ストレージ アカウント設定を変更する

Azure Blob Storage システムがシステム ページで使用できるようになると、NetAppコンソールから一部のストレージ アカウントのプロパティを直接変更できます。

ストレージ アカウント名、Azure リージョン、またはストレージのパフォーマンスの種類は変更できないことに注意してください。

変更できるストレージ アカウントのプロパティは次のとおりです。

- ストレージ アカウントのサブスクリプションとリソース グループ。
- ストレージ アカウントに追加されたオブジェクトのタグを追加、変更、または削除します。
- ストレージ アカウントに追加された新しいオブジェクトが暗号化されるかどうか、および暗号化に使用されるオプション。

これらのストレージアカウント設定は、コンソールから直接変更することができます。...ストレージ アカウント用。

Overview

483
Total storage accounts

10.08 TiB
Total capacity

14
Total locations

483 Storage Accounts Search Add storage account

Storage Account Name	Subscription	Location	Creation Date	Resource Group	Blob Capacity	
occmgroupcanadacent	OCCM QA1	Canada Central	January 27, 2020	occm_group_canadacentral	676.87 KiB	
netappbackupveah	OCCM QA1	East US 2	August 24, 2020	occm_group_eastasia	10.18	Edit project details Edit tags Edit encryption
compliancedemo1rg	OCCM QA1	Central US	February 2, 2020	complianceDemo1-rg	795.2	
u4yhkgkj44t9	OCCM QA1	Central US	February 3, 2020	azureCompliance-rg	603.2	

プロジェクトの詳細を変更する

プロジェクトの詳細 セクションでは、ストレージ アカウントのサブスクリプションとリソース グループを変更できます。

フィールド	説明
Subscription	ストレージ アカウントに別の Azure サブスクリプションを選択します。
リソース グループ	ストレージ アカウントに別のリソース グループを選択します。 "リソースグループの詳細" 。

保存 を選択して、ストレージ アカウントへの変更を保存します。

ストレージ アカウント内のオブジェクトのタグを追加または変更する

タグ セクションでは、最大 10 個のタグ キー/値のペアを追加したり、タグ キー/値のペアを変更または削除したりできます。タグは、オブジェクトがストレージ アカウントに追加されたときに適用されます。さらにタグを追加する場合は、「新しいタグを追加」を選択します。

["タグ付けの詳細については、Microsoft のドキュメントをご覧ください。"](#)

保存 を選択して、ストレージ アカウントへの変更を保存します。

暗号化設定を変更する

Encryption セクションでは、ストレージ アカウント内のデータへのアクセスを保護するために使用するデータ暗号化の種類を変更できます。

データ暗号化タイプ	説明
Microsoft 管理キー	デフォルトでは、データの暗号化には Microsoft が管理する暗号化キーが使用されます。

データ暗号化タイプ	説明
顧客管理キー	既定の Microsoft 管理の暗号化キーを使用する代わりに、独自の顧客管理キーをデータ暗号化に使用できます。独自のカスタマー マネージド キーを使用する予定の場合は、このページで Key Vault とキーを選択できるように、キーをあらかじめ作成しておく必要があります。 キーはストレージ アカウントと同じサブスクリプション内に置くことも、別のサブスクリプションを選択することもできます。

Microsoft Azureのドキュメントを参照してください ["Microsoft 管理キーに関する詳細情報"](#)、そして ["顧客管理キーの詳細情報"](#)。

保存 を選択して、ストレージ アカウントへの変更を保存します。

Azure Blob ストレージでNetAppデータ サービスを使用する

NetAppコンソールで Azure Blob ストレージ アカウントを検出したら、バックアップ、階層化、およびデータ同期にNetAppデータ サービスを使用できます。

- * NetApp Backup and Recovery* を使用して、オンプレミスのONTAPおよびCloud Volumes ONTAPシステムから Azure Blob ストレージにデータをバックアップします。

開始するには、「システム」ページに移動します。オンプレミスのONTAPまたはCloud Volumes ONTAPシステムを Azure Blob Storage システムにドラッグ アンド ドロップします。

["ONTAPデータを Azure Blob ストレージにバックアップする方法の詳細"](#)。

- * NetApp Cloud Tiering* を使用して、オンプレミスのONTAPクラスターから Azure Blob ストレージに非アクティブなデータを階層化します。

開始するには、「システム」ページに移動します。オンプレミスのONTAPシステムを Azure Blob Storage システムにドラッグ アンド ドロップします。

["ONTAPデータを Azure Blob ストレージに階層化する方法の詳細"](#)。

- * NetApp Copy and Sync* を使用して、Azure Blob ストレージ アカウントとの間でデータを同期します。

開始するには、「システム」ページに移動します。ソース システムをターゲット システムにドラッグ アンド ドロップします。Azure Blob Storage システムは、ソースまたはターゲットのいずれかになります。

また、Azure Blob ストレージ システムを選択し、[サービス] パネルから [コピーと同期] を選択して、Azure Blob ストレージ アカウントとの間でデータを同期することもできます。

["コピーと同期について詳しくはこちら"](#)。

知識とサポート

サポートに登録する

NetAppコンソールとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、サポート登録が必要です。Cloud Volumes ONTAPシステムの主要なワークフローを有効にするには、サポート登録も必要です。

サポートに登録しても、クラウド プロバイダー ファイル サービスに対するNetAppサポートは有効になりません。クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

サポート登録の概要

サポート資格を有効にするには、次の 2 つの登録形式があります。

- NetAppコンソール アカウントのシリアル番号 (コンソールの [サポート リソース] ページにある 20 桁の 960xxxxxxxx シリアル番号) を登録します。

これは、コンソール内のすべてのサービスに対する単一のサポート サブスクリプション ID として機能します。各コンソール アカウントを登録する必要があります。

- クラウド プロバイダーのマーケットプレイスで、サブスクリプションに関連付けられたCloud Volumes ONTAPシリアル番号を登録します (これらは 20 桁の 909201xxxxxxxx シリアル番号です)。

これらのシリアル番号は一般に *PAYGO* シリアル番号 と呼ばれ、Cloud Volumes ONTAP の導入時にNetAppコンソールによって生成されます。

両方のタイプのシリアル番号を登録すると、サポート チケットの開設やケースの自動生成などの機能が有効になります。登録は、以下の説明に従ってNetAppサポート サイト (NSS) アカウントをコンソールに追加することで完了します。

NetAppサポートのためにNetAppコンソールに登録する

サポートに登録し、サポート資格を有効にするには、NetAppコンソール アカウントの 1 人のユーザーがNetAppサポート サイト アカウントをコンソール ログインに関連付ける必要があります。NetAppサポートに登録する方法は、NetAppサポート サイト (NSS) アカウントをすでにお持ちかどうかによって異なります。

NSSアカウントをお持ちの既存顧客

NSS アカウントをお持ちのNetApp のお客様の場合は、コンソールからサポートに登録するだけです。

手順

1. 管理 > *資格情報*を選択します。
2. *ユーザー資格情報*を選択します。
3. **NSS** 資格情報の追加 を選択し、NetAppサポート サイト (NSS) の認証プロンプトに従います。
4. 登録プロセスが成功したことを確認するには、[ヘルプ] アイコンを選択し、[サポート] を選択します。

リソース ページには、コンソール アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。

他のコンソール ユーザーは、ログインにNetAppサポート サイト アカウントを関連づけていない場合、同じサポート登録ステータスを表示しないことに注意してください。ただし、これはあなたのアカウントがサポートに登録されていないことを意味するものではありません。組織内の 1 人のユーザーがこれらの手順を実行していれば、アカウントは登録済みになります。

既存の顧客だが**NSS**アカウントがない

既存のライセンスとシリアル番号を持ち、NSS アカウントを持っていない場合、既存のNetApp顧客は、NSS アカウントを作成し、それをコンソール ログインに関連付ける必要があります。

手順

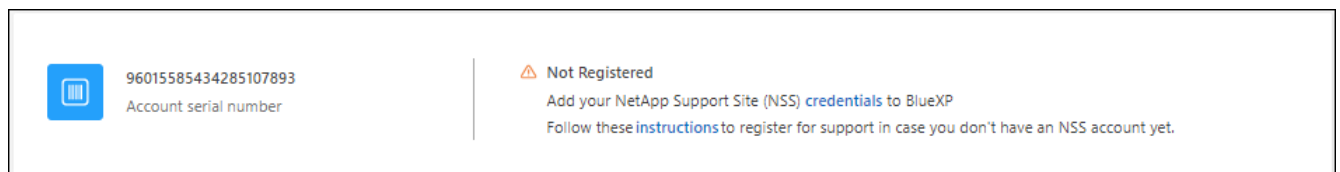
1. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
 - b. 上記で使ったコンソール アカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. 以下の手順を実行して、新しいNSSアカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

NetAppの新着情報

NetAppを初めて使用し、NSS アカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。
2. サポート登録ページからアカウント ID シリアル番号を見つけます。



3. 移動先 "[NetAppのサポート登録サイト](#)"私は登録済みの**NetApp**顧客ではありません を選択します。
4. 必須フィールド (赤いアスタリスクが付いているフィールド) に入力します。
5. 製品ライン フィールドで、**Cloud Manager** を選択し、該当する請求プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順 2 からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティ チェックを完了して、NetApp のグローバル データ プライバシー ポリシーを読んだことを確認します。

この安全な取引を完了するために、指定されたメールボックスに電子メールが直ちに送信されます。検証

メールが数分以内に届かない場合は、必ずスパム フォルダーを確認してください。

7. メール内からアクションを確認します。

確認すると、リクエストがNetAppに送信され、NetAppサポート サイトのアカウントを作成することが推奨されます。

8. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"

- a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
- b. 上記で使ったアカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより処理速度が向上します。

終了後の操作

このプロセス中に、NetAppから連絡が来るはずですが、これは、新規ユーザー向けの1回限りのオンボーディング演習です。

NetAppサポートサイトのアカウントを取得したら、以下の手順を実行して、アカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける

Cloud Volumes ONTAPの次の主要なワークフローを有効にするには、NetAppサポート サイトの認証情報をコンソール アカウントに関連付ける必要があります。

- 従量課金制のCloud Volumes ONTAPシステムをサポート対象として登録する

システムのサポートを有効にし、NetAppテクニカル サポート リソースにアクセスするには、NSS アカウントを提供する必要があります。

- BYOL (個人ライセンス使用) 時にCloud Volumes ONTAP を導入する

コンソールがライセンス キーをアップロードし、購入した期間のサブスクリプションを有効にするには、NSS アカウントを提供する必要があります。これには、期間更新の自動更新が含まれます。

- Cloud Volumes ONTAPソフトウェアを最新リリースにアップグレードする

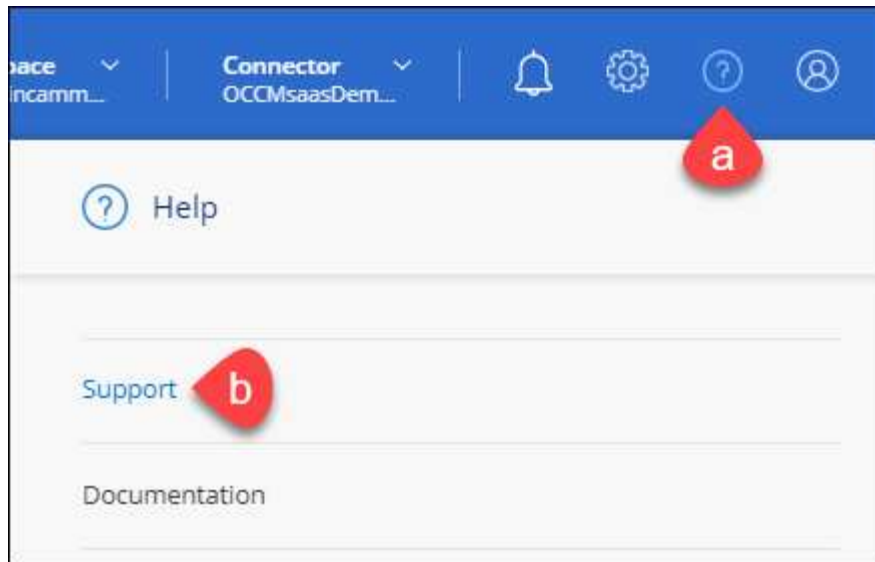
NSS 資格情報をNetAppコンソール アカウントに関連付けることは、コンソール ユーザー ログインに関連付けられている NSS アカウントとは異なります。

これらの NSS 資格情報は、特定のコンソール アカウント ID に関連付けられています。コンソール組織に属するユーザーは、サポート > **NSS** 管理 からこれらの資格情報にアクセスできます。

- 顧客レベルのアカウントをお持ちの場合は、1 つ以上の NSS アカウントを追加できます。
- パートナー アカウントまたは再販業者アカウントをお持ちの場合は、1 つ以上の NSS アカウントを追加できますが、顧客レベルのアカウントと一緒に追加することはできません。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。



2. *NSS管理 > NSSアカウントの追加*を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、[続行] を選択して、Microsoft ログイン ページにリダイレクトします。

NetApp は、サポートとライセンスに固有の認証サービスの ID プロバイダーとして Microsoft Entra ID を使用します。

4. ログイン ページで、NetAppサポート サイトに登録した電子メール アドレスとパスワードを入力して、認証プロセスを実行します。

これらのアクションにより、コンソールはライセンスのダウンロード、ソフトウェア アップグレードの検証、将来のサポート登録などに NSS アカウントを使用できるようになります。

次の点に注意してください。

- NSS アカウントは顧客レベルのアカウントである必要があります (ゲスト アカウントや一時アカウントではありません)。顧客レベルの NSS アカウントを複数持つことができます。
- パートナー レベルのアカウントの場合、NSS アカウントは 1 つだけ存在できます。顧客レベルの NSS アカウントを追加しようとしたときにパートナー レベルのアカウントが存在する場合は、次のエラー メッセージが表示されます。

「異なるタイプの NSS ユーザーがすでに存在するため、このアカウントでは NSS 顧客タイプは許可されません。」

既存の顧客レベルの NSS アカウントがあり、パートナー レベルのアカウントを追加しようとする場合も同様です。

- ログインが成功すると、NetApp はNSS ユーザー名を保存します。

これは、メールにマッピングされるシステム生成の ID です。*NSS管理*ページでは、... メニュー。

- ログイン認証トークンを更新する必要がある場合は、... メニュー。

このオプションを使用すると、再度ログインするよう求められます。これらのアカウントのトークンは 90 日後に期限切れになることに注意してください。これを知らせる通知が投稿されます。

ヘルプを受ける

NetAppコンソールとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、サポート登録が必要です。Cloud Volumes ONTAPシステムの主要なワークフローを有効にするには、サポート登録も必要です。

サポートに登録しても、クラウド プロバイダー ファイル サービスに対するNetAppサポートは有効になりません。クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

サポート登録の概要

サポート資格を有効にするには、次の 2 つの登録形式があります。

- NetAppコンソール アカウントのシリアル番号 (コンソールの [サポート リソース] ページにある 20 桁の 960xxxxxxxx シリアル番号) を登録します。

これは、コンソール内のすべてのサービスに対する単一のサポート サブスクリプション ID として機能します。各コンソール アカウントを登録する必要があります。

- クラウド プロバイダーのマーケットプレイスで、サブスクリプションに関連付けられたCloud Volumes ONTAPシリアル番号を登録します (これらは 20 桁の 909201xxxxxxxx シリアル番号です)。

これらのシリアル番号は一般に *PAYGO* シリアル番号 と呼ばれ、Cloud Volumes ONTAP の導入時にNetAppコンソールによって生成されます。

両方のタイプのシリアル番号を登録すると、サポート チケットの開設やケースの自動生成などの機能が有効になります。登録は、以下の説明に従ってNetAppサポート サイト (NSS) アカウントをコンソールに追加することで完了します。

NetAppサポートのためにNetAppコンソールを登録する

サポートに登録し、サポート資格を有効にするには、NetAppコンソール アカウントの 1 人のユーザーがNetAppサポート サイト アカウントをコンソール ログインに関連付ける必要があります。NetAppサポートに登録する方法は、NetAppサポート サイト (NSS) アカウントをすでにお持ちかどうかによって異なります。

NSSアカウントをお持ちの既存顧客

NSS アカウントをお持ちのNetApp のお客様の場合は、コンソールからサポートに登録するだけです。

手順

1. 管理 > *資格情報*を選択します。
2. *ユーザー資格情報*を選択します。

3. **NSS** 資格情報の追加 を選択し、NetAppサポート サイト (NSS) の認証プロンプトに従います。
4. 登録プロセスが成功したことを確認するには、[ヘルプ] アイコンを選択し、[サポート] を選択します。

リソース ページには、コンソール アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。

他のコンソール ユーザーは、ログインにNetAppサポート サイト アカウントを関連づけていない場合、同じサポート登録ステータスを表示しないことに注意してください。ただし、これはあなたのアカウントがサポートに登録されていないことを意味するものではありません。組織内の 1 人のユーザーがこれらの手順を実行していれば、アカウントは登録済みになります。

既存の顧客だが**NSS**アカウントがない

既存のライセンスとシリアル番号を持ち、NSS アカウントを持っていない場合、既存のNetApp顧客は、NSS アカウントを作成し、それをコンソール ログインに関連付ける必要があります。

手順

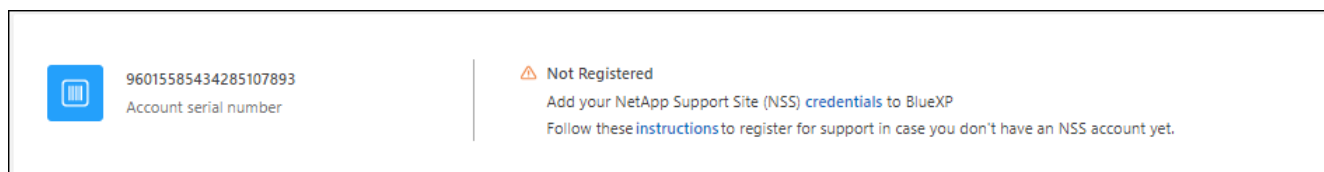
1. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
 - b. 上記で使ったコンソール アカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. 以下の手順を実行して、新しいNSSアカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

NetAppの新着情報

NetAppを初めて使用し、NSS アカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。
2. サポート登録ページからアカウント ID シリアル番号を見つけます。



3. 移動先 "[NetAppのサポート登録サイト](#)"私は登録済みの**NetApp**顧客ではありません を選択します。
4. 必須フィールド (赤いアスタリスクが付いているフィールド) に入力します。
5. 製品ライン フィールドで、**Cloud Manager** を選択し、該当する請求プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順 2 からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティ チェックを完了して、NetApp のグローバル データ プライバシー ポリシーを読んだことを確認します。

この安全な取引を完了するために、指定されたメールボックスに電子メールが直ちに送信されます。検証メールが数分以内に届かない場合は、必ずスパム フォルダーを確認してください。

7. メール内からアクションを確認します。

確認すると、リクエストがNetAppに送信され、NetAppサポート サイトのアカウントを作成することが推奨されます。

8. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
 - b. 上記で使ったアカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより処理速度が向上します。

終了後の操作

このプロセス中に、NetAppから連絡が来るはずですが、これは、新規ユーザー向けの 1 回限りのオンボーディング演習です。

NetAppサポートサイトのアカウントを取得したら、以下の手順を実行して、アカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける

Cloud Volumes ONTAPの次の主要なワークフローを有効にするには、NetAppサポート サイトの認証情報をコンソール アカウントに関連付ける必要があります。

- 従量課金制のCloud Volumes ONTAPシステムをサポート対象として登録する

システムのサポートを有効にし、NetAppテクニカル サポート リソースにアクセスするには、NSS アカウントを提供する必要があります。

- BYOL (個人ライセンス使用) 時にCloud Volumes ONTAP を導入する

コンソールがライセンス キーをアップロードし、購入した期間のサブスクリプションを有効にするには、NSS アカウントを提供する必要があります。これには、期間更新の自動更新が含まれます。

- Cloud Volumes ONTAPソフトウェアを最新リリースにアップグレードする

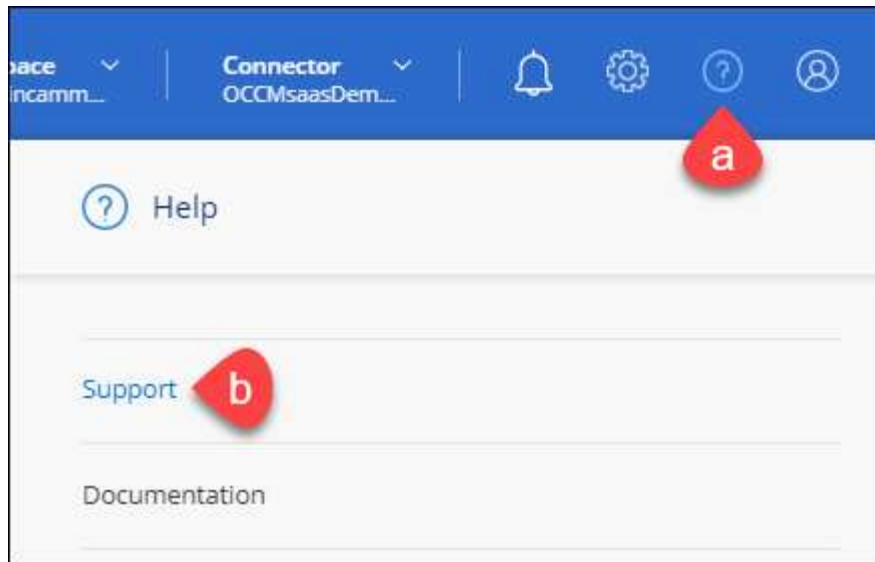
NSS 資格情報をNetAppコンソール アカウントに関連付けることは、コンソール ユーザー ログインに関連付けられている NSS アカウントとは異なります。

これらの NSS 資格情報は、特定のコンソール アカウント ID に関連付けられています。コンソール組織に属するユーザーは、サポート > **NSS 管理** からこれらの資格情報にアクセスできます。

- 顧客レベルのアカウントをお持ちの場合は、1 つ以上の NSS アカウントを追加できます。
- パートナー アカウントまたは再販業者アカウントをお持ちの場合は、1 つ以上の NSS アカウントを追加できますが、顧客レベルのアカウントと一緒に追加することはできません。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。



2. *NSS管理 > NSSアカウントの追加*を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、[続行] を選択して、Microsoft ログイン ページにリダイレクトします。

NetApp は、サポートとライセンスに固有の認証サービスの ID プロバイダーとして Microsoft Entra ID を使用します。

4. ログイン ページで、NetAppサポート サイトに登録した電子メール アドレスとパスワードを入力して、認証プロセスを実行します。

これらのアクションにより、コンソールはライセンスのダウンロード、ソフトウェア アップグレードの検証、将来のサポート登録などに NSS アカウントを使用できるようになります。

次の点に注意してください。

- NSS アカウントは顧客レベルのアカウントである必要があります (ゲスト アカウントや一時アカウントではありません)。顧客レベルの NSS アカウントを複数持つことができます。
- パートナー レベルのアカウントの場合、NSS アカウントは 1 つだけ存在できます。顧客レベルの NSS アカウントを追加しようとしたときにパートナー レベルのアカウントが存在する場合は、次のエラー メッセージが表示されます。

「異なるタイプの NSS ユーザーがすでに存在するため、このアカウントでは NSS 顧客タイプは許可されません。」

既存の顧客レベルの NSS アカウントがあり、パートナー レベルのアカウントを追加しようとする場合も同様です。

- ログインが成功すると、NetApp はNSS ユーザー名を保存します。

これは、メールにマッピングされるシステム生成の ID です。*NSS管理*ページでは、... メニュー。

- ログイン認証トークンを更新する必要がある場合は、... メニュー。

このオプションを使用すると、再度ログインするよう求められます。これらのアカウントのトークンは 90 日後に期限切れになることに注意してください。これを知らせる通知が投稿されます。

法律上の表示

法的通知から、著作権情報、商標、特許などを確認できます。

著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

商標

NetApp、NetAppのロゴ、NetAppの商標一覧のページに掲載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

特許

現在NetAppが所有する特許の一覧は以下のページから閲覧できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

プライバシー ポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

オープンソース

通知ファイルには、NetAppソフトウェアで使用するサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が提供されます。

["NetAppコンソールに関するお知らせ"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。